

5 社会参加に向けた キャリア教育

キャリア教育は、就労のみにとらわれることなく、自分自身でできることを増やし、自己決定、自己実現できる能力や態度を児童生徒の実態や特性、発達段階等に応じて育成していく教育といえます。

学校の教育活動全体で組織的、段階的に取り組んでいくことはもちろんのこと、小学校期から高等学校期まで系統的な実践が求められるところです。

特に、卒業後に向けた進路指導では、「一人ひとりが社会生活を豊かにし、社会に積極的に参加していく」という願いを達成することができるようにすることが大切です。

『キャリア教育』とは、『一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育』である。キャリア教育は、特定の活動や指導方法に限定されるものではなく、様々な教育活動を通して実践されるものであり、一人一人の発達や社会人・職業人としての自立を促す視点から、学校教育を構成していくための理念と方向性を示すものである。」

【今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)

平成 23 年 1 月 中央教育審議会】

確かめてみよう！

★進路についての情報をもっている・・・・・・・・・・

★児童生徒の 10 年後の生活を考えている・・・・・・・・

★保護者と将来像について話している・・・・・・・・・・

★愛の手帳等、福祉サービスについて知っている・・・

★児童生徒の実態や発達段階に応じたキャリア教育に取り組んでいる・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 基本的な考え方

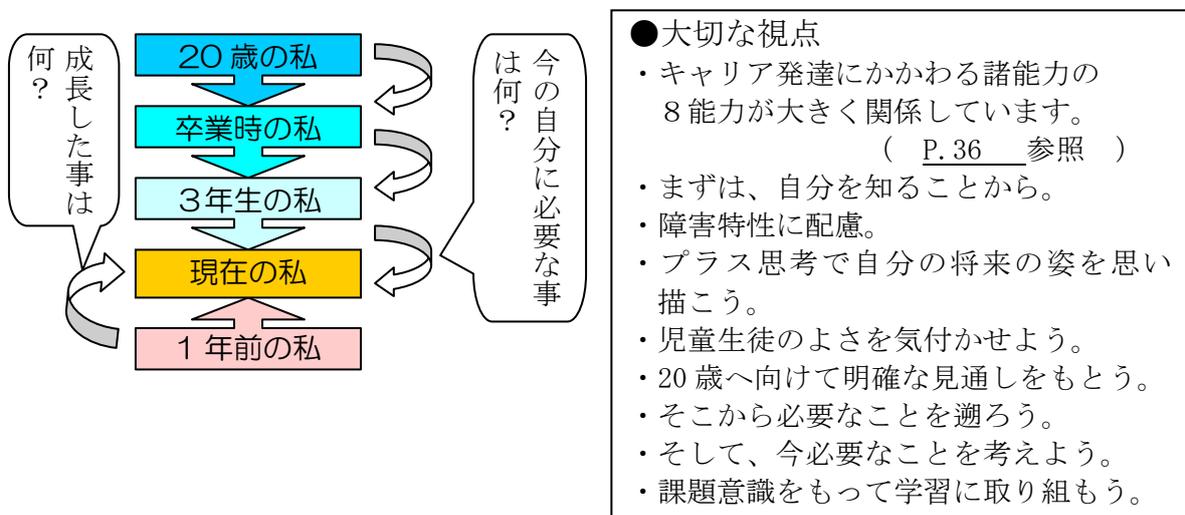
児童生徒一人ひとりの実態に応じた進路指導のためには、児童生徒の実態を正しく捉えること、進路先の情報をより多く持っていることが望まれます。

いずれの教育の場においても、進路のためだけに指導を行うわけではありませんが、将来を見据えて、目的に沿って計画的にキャリア教育の内容を捉えていくことが必要です。

① 将来像の描き方

自閉症の特性を有する児童生徒は、対人関係をうまく築くことが難しかったり、将来の見通しをもつことが苦手だったりすることが多く見受けられます。

しかし、見通しをもつことができる理解しやすい場面が設定されていれば、自ら進んで行動することができます。例えば「20歳の私は？」からさかのぼるように今を見つめてはどうでしょうか？



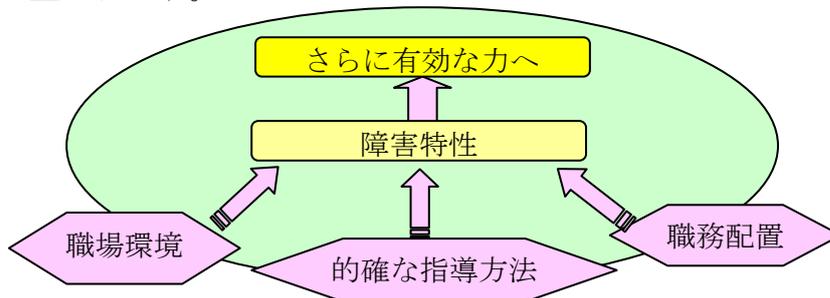
② 自閉症の弱みを強みへ

自閉症の有無にかかわらず、人間のウィークポイント（弱み）は、その反対側から見ると長所（強み）としてみることでできる可能性を秘めているとも言えます。弱みとして捉えられていた特性が、環境を整えることによって強みになることがあります。

「同時に作業を進められない」「物事の優先順位がつけられない」「新しい環境や人への適応に時間がかかる」「臨機応変な動きができない」などの特性を「具体性・規則性のある事柄を良く理解し記憶できる」「目視による視覚的な認識・記憶が正確」「構造化や目的の明確化などの環境を整え、職種によっては一つのことへ集中できる」「ルールや指示を守る真面目さ、正直さ、率直さ」「丁寧に慎重に作業を遂行できる」と、プラスに生かす視点をもつことが重要です。

弱み	強み
①同時並行作業力	集中する力
②創造力、新しい環境や物事	帰属意識
③聴覚認知、ワーキングメモリー	視覚認知、長期記憶
④柔軟性	こだわり、深い知識
⑤決断力、判断力	慎重さ

職場で力を発揮できるようにするためには、障害特性を考慮した環境や配置、業務内容や手順を障害特性に合わせて的確に教えていくことが必要となります。障害特性を生かすことにより、確実な業務の遂行へとつながるような配慮が望まれます。



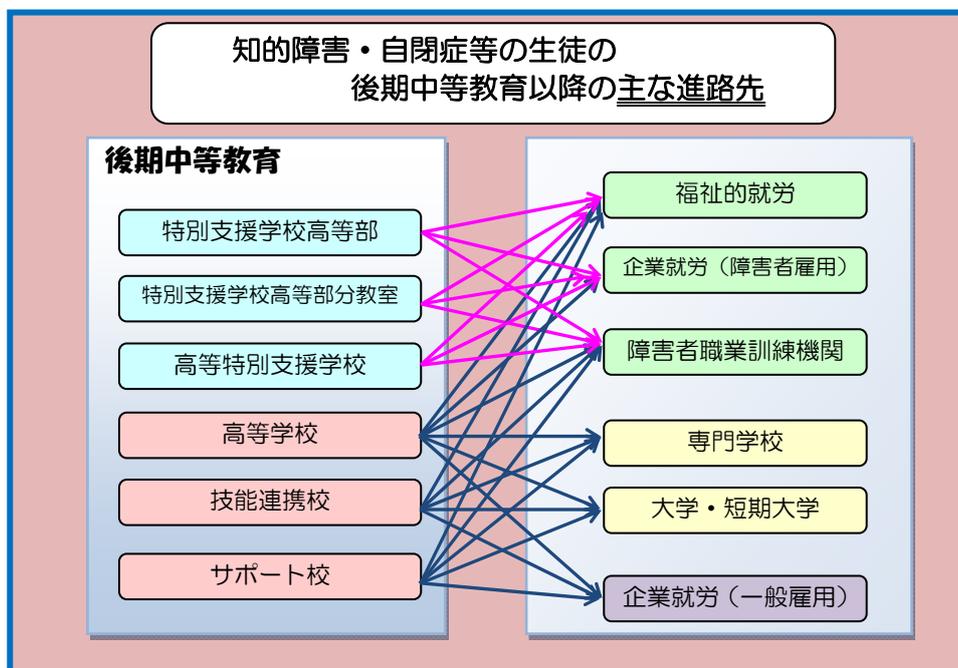
③個に応じた進路選択

児童生徒一人ひとりの実態を適切に把握し、個に応じた将来の進路を見据えた教育内容の選定が必要になります。

個別支援学級に在籍している知的障害のない児童生徒の場合には、将来を見据えて、一般学級で学ぶことも視野に入れることが必要です。すべての児童生徒にとって「インクルーシブ教育システムの構築」「連続性のある多様な学びの場」という視点から、交流及び共同学習を計画に取り入れることが求められています。そのことを通して、適切な自己理解を促し、自己有用感を高めるための指導・支援が必要になります。

本人のもつ可能性や義務教育終了後の生活を視野に入れながら指導を行うことが望まれます。

※高等特別支援学校の取組については、[Q&A Q10](#) 参照



☆愛の手帳（療育手帳）

療育手帳の基準や名称等は、市町村によって異なります。横浜市は、愛の手帳と呼び、A1・A2・B1・B2の4種類があります。判定機関の長が特に必要と認めた場合には、知能指数が非該当の場合であっても、愛の手帳B2と認定されます。しかし、成長する中で、手帳が認定されなくなる場合もあります。

(2) 小学校・中学校から取り組みたいこと

他者に与える第一印象は、普段の家庭や学校生活、社会生活が大きく影響します。進路選択時には面接が必要となることがありますが、その時だけいい印象を与えようと思っても、日々の生活の様子は伝わるものです。

大人になって必要なことは、小さい頃から積み重ねていくことが大切です。【コラム】就労して困ったこと (P. 37) に挙げられているようなことにつながらないためにも、小中学校から取り組んでおきたいことです。

①学校で

○得意なことを知る

苦手ばかりに目が向きがちになります。得意なことを生かせるように、自分の得意なことを知ることが大切です。

○生活のリズムを作る

健康管理・持ち物管理ができるように家庭と連携をします。楽しく登校できるといいですね。

○時間と時刻を管理する

時間を守るのはとても大事なことです。時計が読めるように、時間を意識できるようにしたいですね。

○ルールを守る

ルールは自分を守ってくれるものであることを伝えていきましょう。

○正しい挨拶、返事、言葉遣い

ちょうどよい声の大きさを意識させましょう。

○人間関係を作る

楽しいコミュニケーションや人間関係を経験させましょう。

○話を聞く

最後まで静かに聞く、相づちを打つなどのルールを伝えていきましょう。

○身だしなみを整える

自分の好みだけでなく、他の人が見ても「素敵」「いいね」と思える身だしなみを意識させましょう。

○体力を作る

「身体面」「心理面」両方の力を育てることが必要です。

○決断(決定)の経験をする

決定したことが生かせるような設定を工夫しましょう。



②家庭で

○生活習慣の確立

自分でできることを増やしましょう。朝起きることや季節や場に応じた服装選びもその一つです。

○手伝い

「決められた時に、決められたことをする」ということを定着させましょう。

定着したことに、自分の工夫を加えられたら、それが成長です。

※家のお手伝いの中には、将来の進路に結びつくたくさんの要素が入っています。

○公共交通機関の利用

乗り換えやバス利用の経験も大切です。

※ 電子マネーは便利なものです。利便性と危険性の両面を伝えていきましょう。

○携帯電話等の扱いを知る

自分の情報、他人の情報等、情報の大切さを伝えていきましょう。

(3) 「キャリア発達にかかわる諸能力(例) 4領域8能力」から「基礎的・汎用的能力」へ

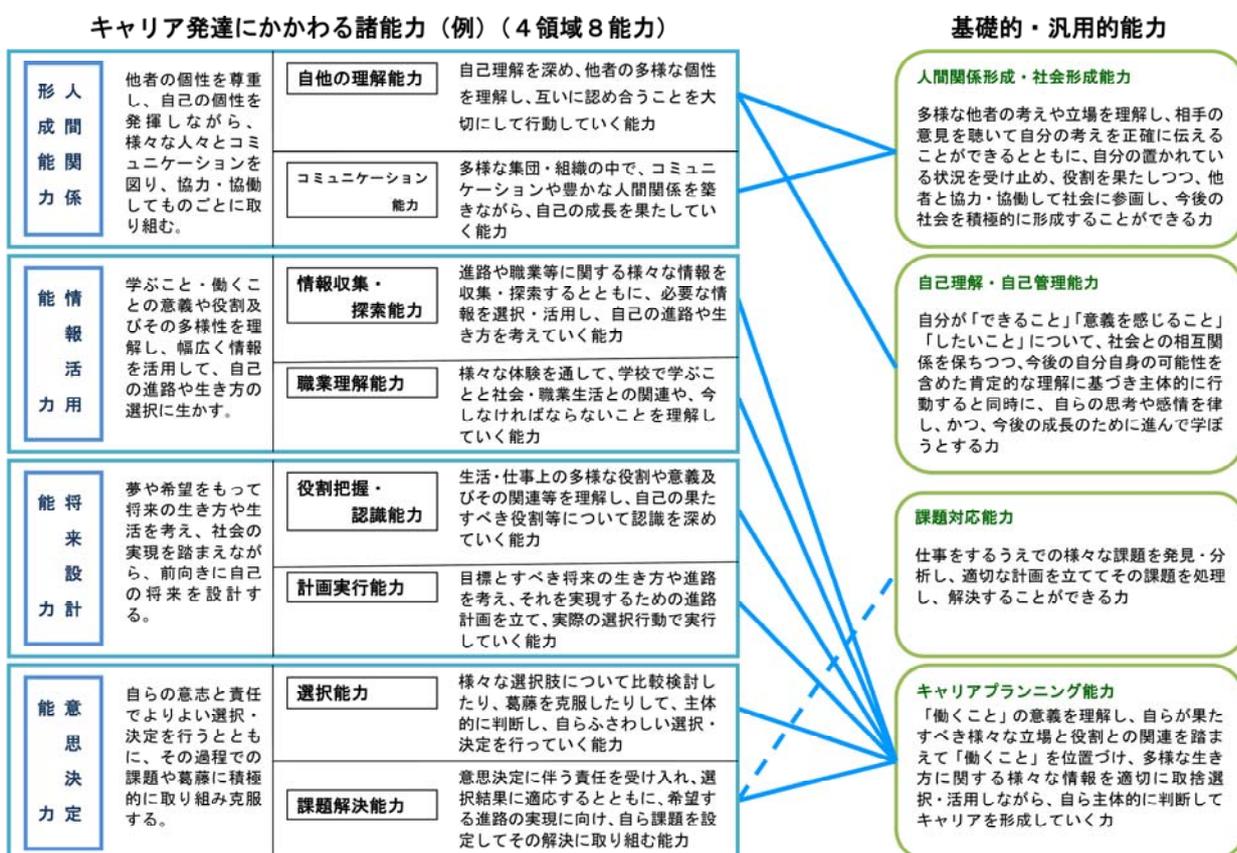
平成16年に、キャリア発達にかかわる諸能力の例の枠組みとして「4領域8能力」が報告され、多くの学校でこれらの能力の具体化や育成のための有効な指導内容・方法等についての研究が行われてきました。平成22年には、国立特別支援教育総合研究所から、この4領域8能力の枠組みによる「知的障害のある児童生徒の『キャリアプランニング・マトリックス(試案)』」とその観点解説が出され、特別支援学校でも活用されてきています。

しかし、この「4領域8能力」に基づいた実践について、

- ① 高等学校までの想定にとどまっているため、生涯を通じて育成される能力という観点が薄く、社会人として実際に求められる能力との共通言語になっていない。
- ② 提示されている能力は例示にもかかわらず、学校現場では固定的にとらえている場合が多い。
- ③ 領域や能力の説明について十分な理解がなされないまま、能力の名称(例：意思決定能力)の語感や印象に依拠した実践が散見される。

などの課題が指摘され、平成23年に「基礎的・汎用的能力」として再構築された枠組みが示されました。

次の図に4領域8能力と基礎的・汎用的能力の対応関係を示しましたが、いずれも「育てたい力」として例示されたものであり、このまますべての学校、すべての児童生徒にあてはまるものではありません。これらをもとに、キャリア教育の視点で各学校の教育課程を見直し、「育てたい力」やその力を育てるための指導内容や方法・指導計画等を検討していくことが重要です。



平成23年1月 中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」

平成23年3月 文部科学省 国立教育政策研究所「キャリア教育にかかわる諸能力の育成に関する調査研究報告書」より

【コラム】

自閉症等の人たちが就労して困ったことを聞いてみました。

朝

出社前・・・

会社では学校のように制服があるけれど、通勤のときは私服・・・。私服って、どんな服装をしたらいいかほんとうに難しい・・・。

通勤中・・・

満員電車はつらい。押されるし、いろんな匂いがするし、イヤホンからシャカシャカ音・・・。だから、朝、早く出るようにしている。

不思議なこと・・・

学校では「挨拶」は社会人の基本と教えられたけど、社会人でも挨拶しない人はいる。どうして？

会社に着いて・・・

出勤時間が遅いと、たくさん人がいるところに入っていくときに「おはようございます」をどこで、誰に言ったらいいかわからなくなる。朝早くで大変だけど、早く出社していれば、来た人に挨拶すればいいから気持ちが楽だ。

朝礼で・・・

いろいろなことを言われると、大事なことを忘れてしまう。大事なこととそうでないことはどうやって分かるんだろう？

そういえば・・・

会社では、「〇長」とか「主任」とか「リーダー」とかいろんな人がいるけど、どの人が偉いのかよく分からない。

???

仕事

聞こえない・・・

仕事にすごく集中をしていたら、休憩時間のチャイムが分からなかった。時間がなくてトイレに行けなかった・・・。

覚えられないよ・・・

メモがうまく取れないので、質問をすることが多い。何度も聞くと、だんだん嫌な顔をされてしまう。

怖い・・・

仕事でミスをしたら「仕事場は戦場だよ」と言われた。仕事場って、そんなに危険なところなのか？と不安になった。

お昼だ！・・・

お昼に会社の人と食べ放題のお店に行った。大好きなメニューがあったので、お腹いっぱい食べたら、午後の仕事にお腹が痛くなってしまった・・・。

休憩

普段は・・・

お弁当をもつてくると、お昼休みに時間が余る。そういうときに何をしたいかが分からない・・・。

何・・・???

「ちょっといいかな？」と声をかけられたけど、何のことか意味が分からなくて、そのまま仕事を続けていた。そしたら「呼んだのにどうして来ないんだ！」と叱られた・・・。

びっくり!!

突然、話しかけられると、なんの話だか分からず、返事ができない。

どっち・・・???

「そんなに頑張らなくていいよ」と言われたから、ゆっくり仕事をしていたら、「真面目にやりなさい」と言われた。どうしたらいいの？

残業・・・

突然、予定が変更になると、やっぱり大変です。いつ終わるかな？